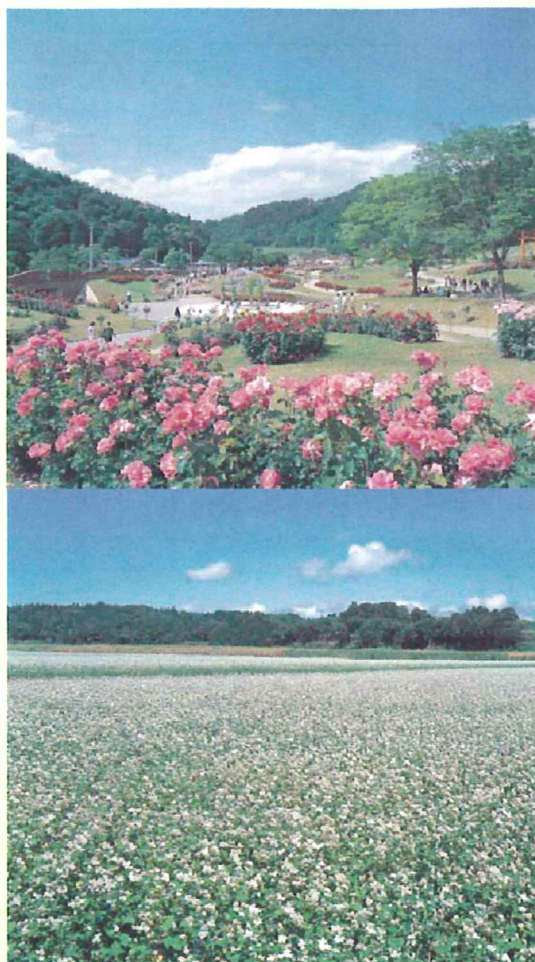




村山市都市計画 マスタープラン 概要版



都市計画マスタープランとは？

「村山市の目標とする将来像を示す大切なプランです」

～村山市の都市計画に関する基本的な方針～

1. 実現すべき具体的な都市の将来像を示します。
2. 住民の皆さんと行政とが共に都市計画について考えていきます。
3. 都市計画相互の調整を図ります。
4. 都市計画の決定・変更の指針になります。

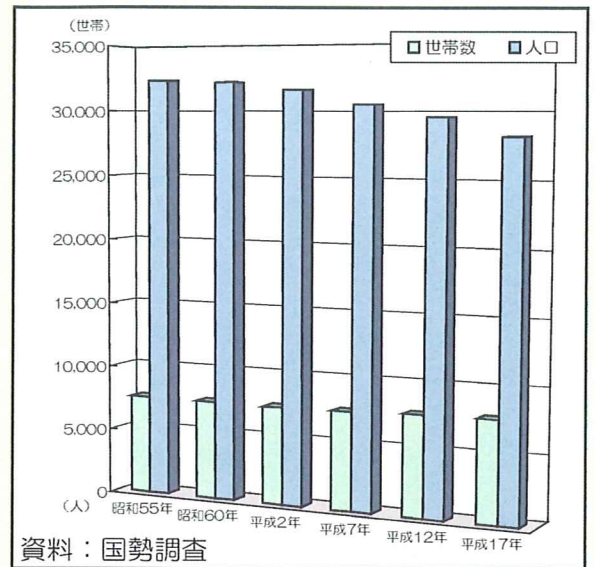
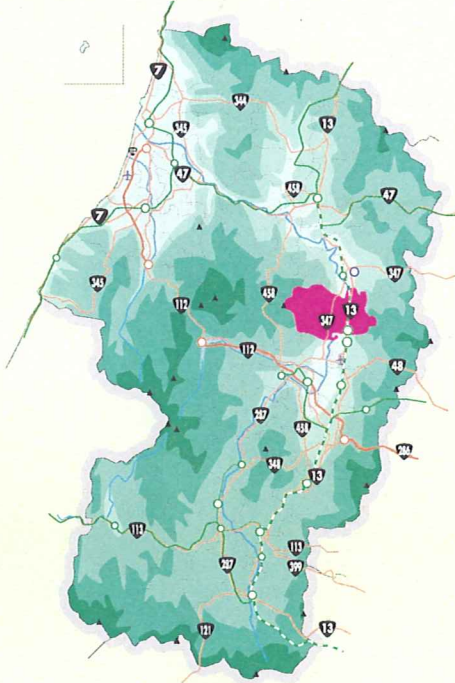
これからの都市計画

- 地域の住民と最も接することの多い市町村が中心となって、計画を決定する必要がでてきています。
- 地域の特徴を活かすような、その地域ならではの計画が必要となってきました。
- 計画を住民に親しみやすく、分かりやすくすることが必要になってきました。

位置

□北村山広域圏における中核都市

- ・山形盆地の北部に位置し、東側は奥羽山脈、西側は出羽丘陵に囲まれ、中央に日本3大急流の一つである最上川が流れています。
- ・東は尾花沢市、南は東根市、北は大石田町、西は大蔵村、寒河江市、河北町に面しています。



人口及び世帯数の推移

□減少する人口、進行する核家族化

- ・村山市における人口は、昭和40年以降、減少の傾向にあります。
- ・平成17年10月1日現在で、人口は約28,000人、世帯数は約7,900世帯となっています。
- ・平成17年の1世帯当たり人員は約3.6人/世帯と減少傾向にあり、核家族化の傾向がみられますが、県平均（約3.1人/世帯）や他市（山形市：約2.7人/世帯）に比べて世帯人員が多くなっています。

都市づくりの目標

村山都市計画区域の整備・開発及び保全の方針との整合に配慮し、総合計画で位置づけられている基本理念、基本目標を踏まえ、20年後の都市の将来像を、次のように設定します。

村山の四季と元気を育む都市づくり

□中心市街地の活性化

市の中心部である楯岡地区の住環境や商業環境の改善、文化交流を支える都市基盤の整備を推進し、村山市の中心市街地として元気のある市街地環境づくりを目指します。また、定住人口の確保を図るため、少子高齢化に配慮して、誰もが安心して生活できる環境づくりと、若者が住みたく魅力ある住宅地の形成を目指します。

□交流を広める都市づくり

楯岡地区を中心とした周辺集落や都市間との交流の促進を図り、活気ある都市づくりの推進を目指します。東北中央自動車道などの広域幹線道路や、国道13号及び国道347号等を交流の基本軸と意識した交通体系の確立を図り、広域的な連携を強化します。また、徳内まつりや東沢公園、クアハウス基点などの連携を強化し、これらを活かした観光・保養・レクリエーション機能を高めた交流人口の増加を目指します。

□田園風景、最上川などの自然景観の保全

田園や河川、周囲の山々は都市環境を構成する重要な要素であり、これらの景観は村山市の原風景でもあるため、自然景観の保全を図り、魅力的な都市環境づくりを目指します。

□工業の振興と働く場所の創出

県内有数のものづくり集積地として、多様な製造技術の継承や高度化に取り組み、工業の振興を目指します。特に、技術力が高い精密機械や自動車部品の供給基地として相互連携した企業の立地促進を図り、若者の働く場所を創出し、地域全体の活性化を目指します。

将来都市構造

都市の将来像と現在の都市の骨格を踏まえ、将来の都市づくりの基本方針を将来都市構造として示します。

なお、都市構造を考える上では、都市機能の集積を図るべき拠点と、拠点間を結ぶ軸を位置づけます。

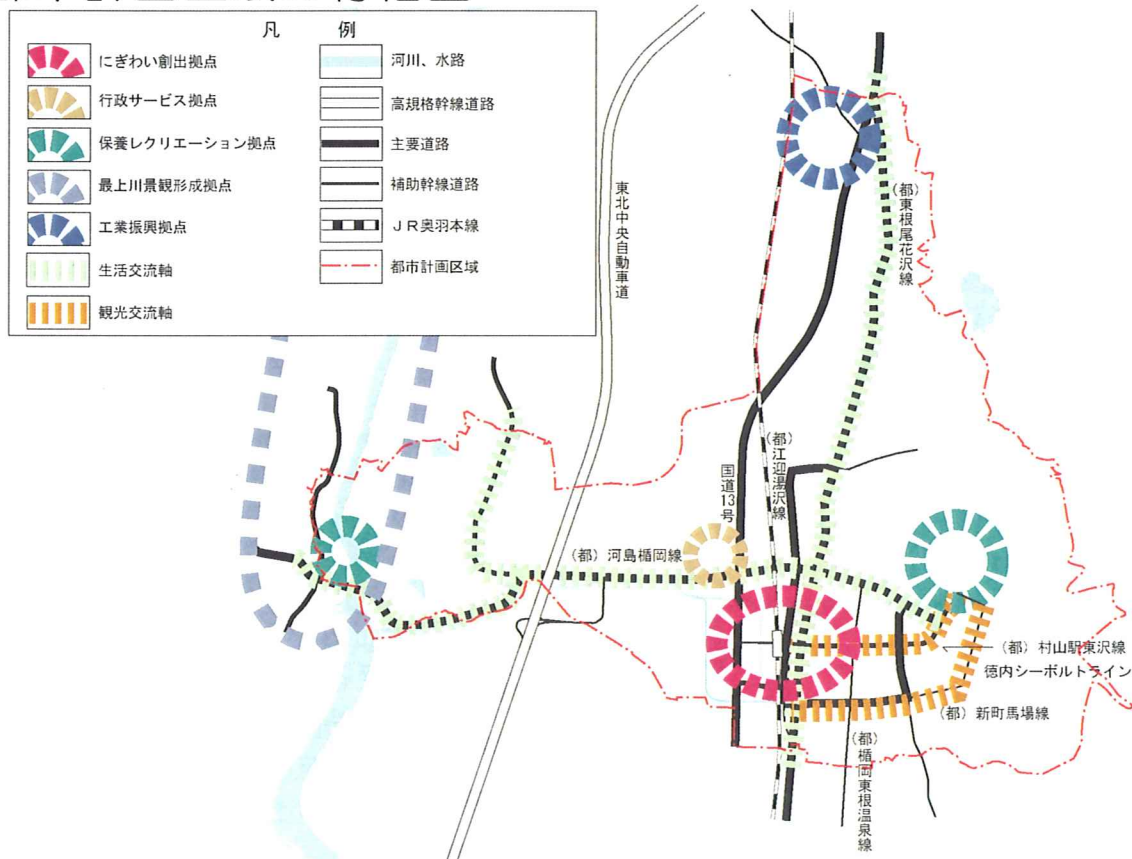
都市の拠点・軸の形成

自然や市街地の状況等を踏まえて、将来の都市を形成していく拠点、人々の交流を促進する都市軸の形成を図ります。

拠点	拠点の位置づけ
にぎわい創出拠点	商業・レクリエーション・交流機能を集積し、活力のある良好な市街地を形成します。
行政サービス拠点	行政サービス施設等の集積を活かして、市民の生活利便性を確保します。
保養レクリエーション拠点	レクリエーション施設の連携や集積を進め、市の保養・健康づくりの拠点を形成します。
最上川景観形成拠点	最上川周辺の景観形成を推進するために、自然緑地の保全を図り、観光交流を促進する関連施設を整備します。
工業振興拠点	ものづくり産業の集積を図り、若者の働く場所の創出と地域の活性化につなげます。

都市軸	都市軸の位置づけ
生活交流軸	楯岡地区と大倉地区及び西郷地区を結び、市民の生活や交流を支える都市軸として、旧国道13号及び(都)河島楯岡線を位置づけます。
観光交流軸	広域的な都市間交流に対応し、にぎわいの創出を支える都市軸として、(都)村山駅東沢線、(都)新町馬場線と徳内シーボルトラインを位置づけます。

都市計画区域の骨格図



土地利用等の整備の方針

【商業ゾーン】

- ・市役所周辺に集積している行政施設等の立地性を活かした業務地の形成を図ります。
- ・国道13号や（都）河島楯岡線の沿道は、交通環境の改善により、沿道業務地の形成を図ります。
- ・村山駅周辺の商店街は、市民生活の利便性向上や経済活動の拡大を図るために、ゆとりある歩行者空間の確保や駐車場等の整備による商業環境の再構築を図りながら商業地としての形成を図ります。

【農業ゾーン】

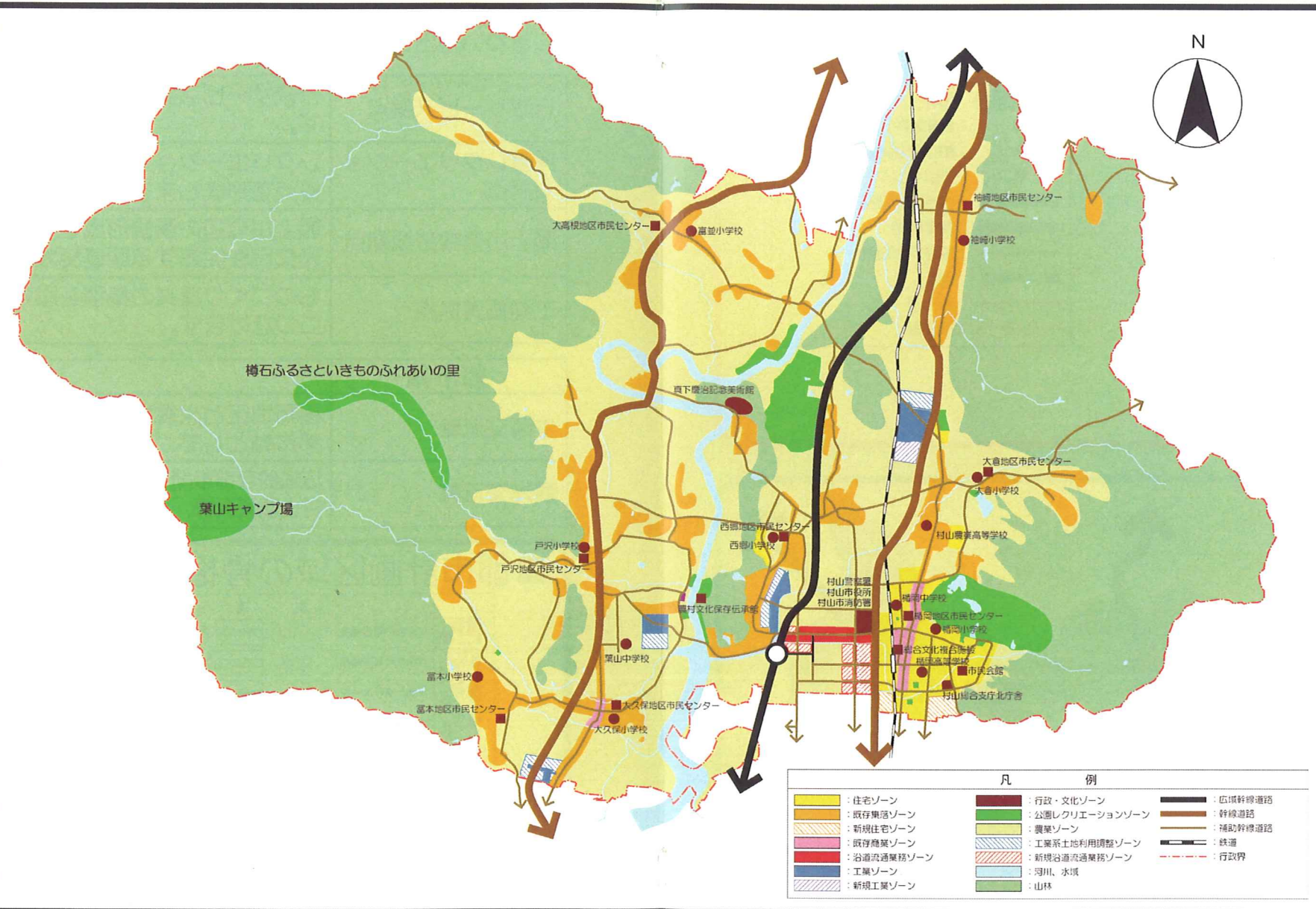
- ・用途地域周辺の農用地は、都市にゆとりと潤いを与える貴重な空間であり、市内に広がる田園風景は村山市の原風景でもあることから集団的保全を図りますが、今後適正な都市の形成を図るために、一部の地域では、都市的土地利用への転換に関する関係機関との調整を進めます。
- ・楯岡市街地の北西部に広がる農地は、西郷地区の丘陵地など一体となった良好な景観を有しており、今後も環境の維持・保全を図ります。

【道路の整備】

- ・東北中央自動車道の整備促進と併せて、広域的な都市間の交流促進を図ります。
- ・中心部の通過交通を減らすため、都市計画道路の整備を図り、環状道路の形成を図ります。
- ・都市の骨格を形成する村山駅東沢線は、市街地と東沢公園を結び、観光交流の促進を支える道路として整備を推進します。
- ・市内幹線道路を結び、市街地内・集落内を通る道路は、道路拡幅や危険箇所の改善により、自動車利用の利便性を高めるとともに、歩行者の安全性を確保します。
なお、狭あい道路では譲りあいスポットの設置を推進します。
- ・都市計画道路の整備により、市街地部での効率的な道路網を形成し、快適性の向上を図ります。

【住宅系の土地利用】

- ・中心部である楯岡市街地の周辺については、超高齢社会や積雪に対応した誰もが安全で住みよい居住環境の形成を図ります。
また、都市防災上、建物の不燃化や耐震化を促進し、狭あい道路の改善や避難路・避難地の確保を図ります。
- ・積雪時の市民生活への影響を軽減するため、特に狭あい道路の多い楯岡市街地では、譲りあいスポットの設置や堆雪場の確保を図り、都市基盤の整備と民間開発の誘導による市街地の改造と定住化の促進を図ります。
- ・都市計画区域内で用途地域を定めていない地域においては、地区計画制度の活用などによる計画的な土地利用の推進を検討します。
- ・楯岡茨田地区などの用途地域に隣接して民間開発が進められている地区では、周辺環境との調和に配慮しながら、適正な誘導を図ります。
- ・集落地では、周囲の農地や自然環境と調和した居住環境を維持し、市民の生活利便性の向上を図ります。
- ・市民の暮らしに潤いをもたらす豊かな自然環境の保全を図り、村山市の原風景を構成する景観要素の保全を図ります。



【公園レクリエーションゾーン】

- ・公園整備水準が低い所を中心に、未利用地の活用等を図りながら、公園整備を推進します。
- ・楯岡市街地縁辺部における東沢公園や森林などの樹林地は、豊かな生態系を支える貴重な自然環境であることから、これらの樹林地の維持・保全に努めます。

- ・東沢公園縁辺部や河島山縁辺部の急傾斜地に隣接する地区では、地滑りや急傾斜地崩壊などの危険が考えられるため、これらの危険箇所の市街化抑制に努めると共に、市街地への誘導促進を図ります。
- ・最上川沿いの河川緑地は、本市固有の景観であり、この自然緑地帯の維持・保全を図ります。
- ・里山の集落田園風景や街道の街並み保全に努めます。

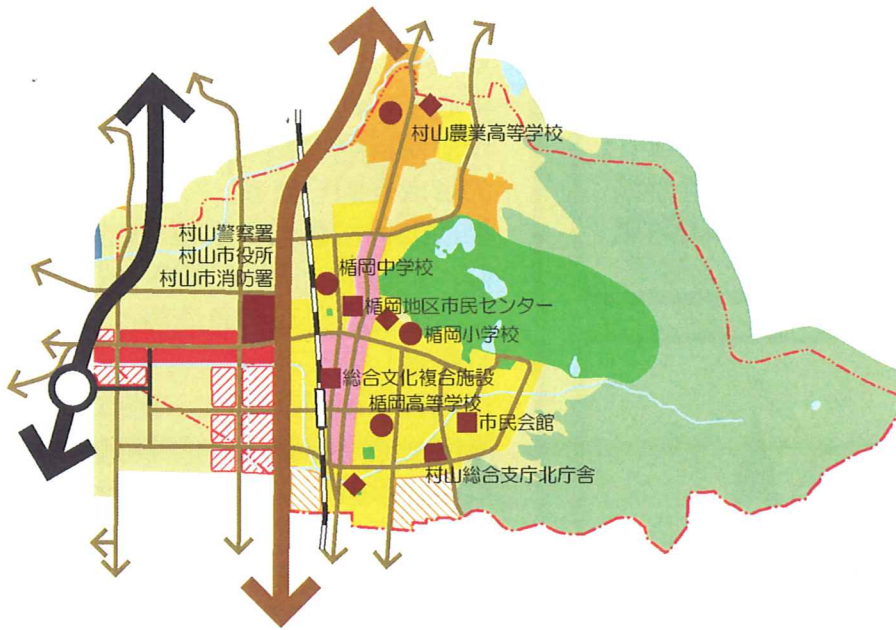
【工業ゾーン】

- ・金谷工業団地等の集積がみられる工業地については、拠点性を高めるため、企業誘致などの施策を展開し、工業拠点としての形成を図ります。

【市街地の整備】

- ・中心市街地は市内外から利用され、村山市の顔ともなる場であることから、一体的な市街地の再編により、公共施設や道路網を確保し、利便性と安全性が確保された市街地を整備します。
整備に当たっては、周辺の自然や昔ながらの街並みの再整備、ゆとりある居住環境の創出を目指し、道路や辻広場などの整備を推進します。
- ・村山駅西側の土地地区画整理事業や中心市街地南部などの民間開発による住宅地の整備に併せて、利便性が高く、緑にあふれた、ゆとりある居住空間の形成を図ります。また、魅力的な街並み形成を図るために、地区計画や建築協定の導入等の検討を図ります。

■ 楯 岡



凡	例
	: 住宅ゾーン
	: 既存集落ゾーン
	: 新規住宅ゾーン
	: 既存商業ゾーン
	: 沿道流通業務ゾーン
	: 新規沿道流通業務ゾーン
	: 行政・文化ゾーン
	: 公園レクリエーションゾーン
	: 農業ゾーン
	: 河川、水域
	: 山林
	: 教育施設（小・中・高校）
	: 教育施設（保育園・児童センター）
	: 市民センター
	: 広域幹線道路
	: 幹線道路
	: 補助幹線道路
	: 鉄道
	: 地区界
	: 行政界

まちづくりのテーマ

活力と魅力にあふれる賑わいと交流の拠点

- 村山市の中心として、まつりを活かした魅力のあるまちづくり
- 村山駅を拠点とし「村山市の顔」となるまちづくり
- 生活・産業・文化機能の充実したまちづくり

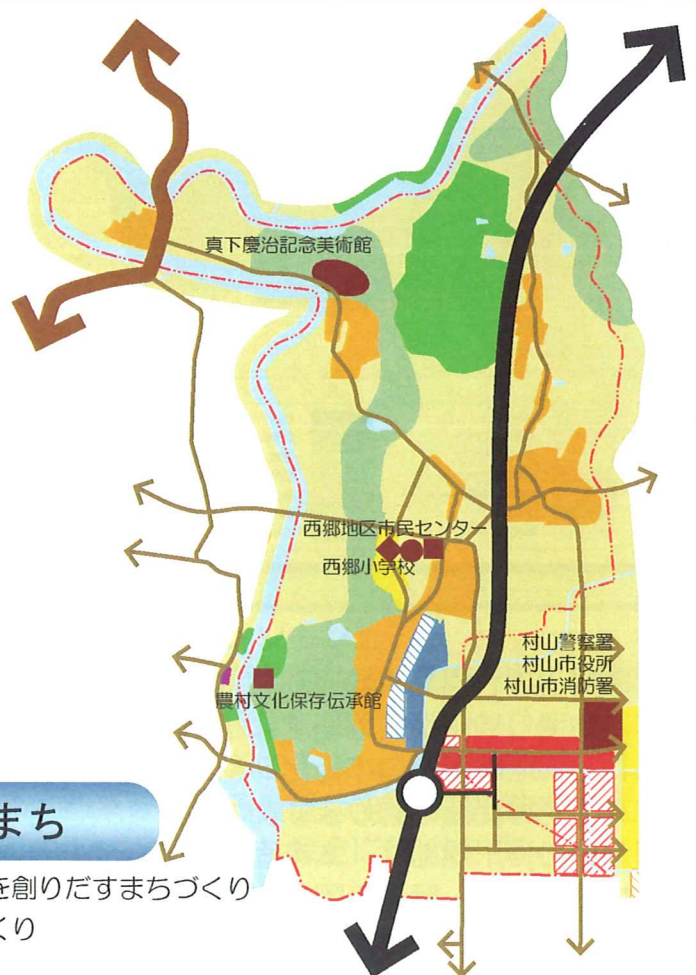
■ 西 郷

凡	例
	: 住宅ゾーン
	: 既存集落ゾーン
	: 新規住宅ゾーン
	: 既存商業ゾーン
	: 沿道流通業務ゾーン
	: 新規沿道流通業務ゾーン
	: 行政・文化ゾーン
	: 公園レクリエーションゾーン
	: 農業ゾーン
	: 河川、水域
	: 山林
	: 教育施設（小・中・高校）
	: 教育施設（保育園・児童センター）
	: 市民センター
	: 広域幹線道路
	: 幹線道路
	: 補助幹線道路
	: 鉄道
	: 地区界
	: 行政界

まちづくりのテーマ

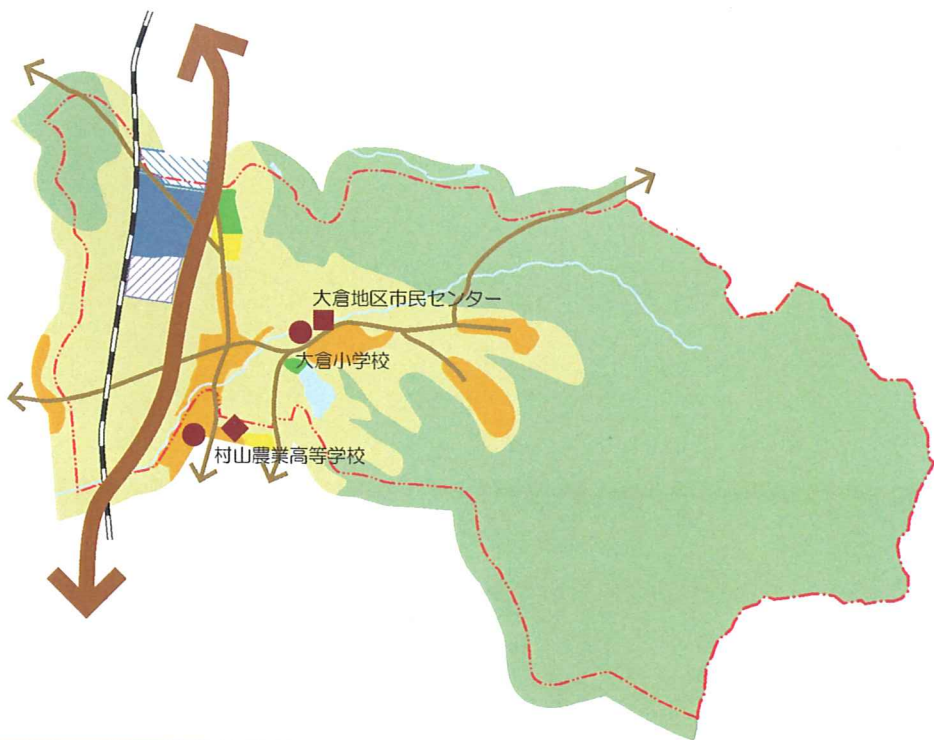
新たな活力と自然とが共存するまち

- インターチェンジ整備による新たな広域交流の玄関口を創りだすまちづくり
- 河島山、最上川といった自然と緑を大切にしたまちづくり
- 利便性に富んだ活力あるまちづくり



■大 倉

凡	例
	: 住宅ゾーン
	: 既存集落ゾーン
	: 工業ゾーン
	: 新規工業ゾーン
	: 工業系土地利用調整ゾーン
	: 公園レクリエーションゾーン
	: 農業ゾーン
	: 河川、水域
	: 山林
	: 教育施設（小・中・高校）
	: 教育施設（保育園・児童センター）
	: 市民センター
	: 幹線道路
	: 補助幹線道路
	: 鉄道
	: 地区界
	: 行政界



まちづくりのテーマ

豊かな自然と産業がやさしく共存するまち

- 企業誘致などにより、工業を振興するまちづくり
- 甑岳の豊かな自然環境を保ち、共生するまちづくり
- 金谷運動広場を活かしたレクリエーション交流のあるまちづくり

■地域区分図

